

指定管理者の

運営管理把握は

問 ハイランドふらの指定管理導入1年目の評価をどの様に見ているか。

答 株式会社富良野振興公社から協定書に基づき、事業報告書および収支決算報告書が提出されている。収入減と設備更新による支出増で収支は厳しい状況と認識している。営業努力はもとより、指定管理申請書に基づく運営管理がされるよう指導して行く。



指定管理のスポーツセンター

市民の声を指定管理者に届ける仕組みは

問 市民の指定管理者制度に対する信頼の第一歩として、

市民の声を指定管理者に届ける仕組みは。

答 指定管理者から提出されている管理業務計画書で確認しているが、尚一層利用者の声が届くよう務める。

全国学力・学習調査の結果活用は

問 4月に実施された結果の分析と教育現場への活用は。

答 基礎・基本は概ね定着しているが、知識を活用し応用する力に課題があった。課題を共有して授業・家庭学習のあり方や生活指導について改善を図る。

いじめ事案への対応策は

問 市内中学校でも、いじめの報告がされているが対応策は。

答 危機意識をもって早期発見、早期解決に当たり、さらに富良野市PTA連合会とも連携強化を図るため、定期的な教育懇話会を開催し意見や情報交換を進める。家庭の教育機能向上のため学校・家庭・地域が連携を深めて健全な育成を図る。

岡野 孝則

〔民主クラブ〕

圏域の将来に向けた農業政策

問 農政推進会議の現状は。

答 平成12年農協合併に伴い圏域による農政推進会議を設立。共通課題など、推進中。

問 今後農政推進会議を通して、圏域農業の更なる発展のため、一体化の考えは。

答 広域性は認識している。一体化のためには振興策の変更など多くの課題、平成17年に、沿線市町村にて検討したが実現には至らなかった。今後、農政推進会議の中で方向性をさぐって行きたい。

農地・水・環境保全向上対策

問 実施地区と面積、組織立上げ等の日程はどうなるか。

答 農業振興・農用地域住民で事業実施。平成20年度採択に向け取り組む。面積は、約9500ha。地区名は、富良野中央地区・西部・東部・山部・東山の5地区。今後、道

予算の目的が明らかになる1月に、再度地区別説明会を開催、3月に組織設立総会予定、事務局は改良区を予定。



共同作業風景

問 共同活動の支援内容と事業総額は。

答 共同活動は農道の草刈り、用排水路清掃及び補修、鹿柵や牧柵の管理補修他、様々な事業を地区内で協議。事業総額は1億8千百万円。

子供達の自立支援事業

問 本事業の取り組み状況と、いじめ、不登校の実態と対策。

答 自立支援事業は文部科学省より2年間委託を受ける。いじめ、不登校の実態は、小中学校で24件、不登校は減少傾向にある。対策として、子供

と親の相談員、スクールカウンセラー配置、本年よりスクールガードリーダー（警察官OB）を全校に派遣。今後も

富良野市少年育成協議会を核とし、いじめ根絶に向け、市教委と学校間、富良野市PTA連合会との連携強化を図り、定期的に教育懇話会を開催。

問 携帯電話、インターネット普及に伴う家庭と学校でのルール作りが必要と思うが。

答 詐欺、出会い系サイトから子供達を守るため、家庭・学校・PTAとの連携強化により、ルール作りに取り組む。

問 学校評価の取り組みは。

答 学校の組織力、総合力を高めて行く。自己評価の他、学校外部評価委員会の設置に向け協議を行っている。

東海林 孝司

〔民主クラブ〕

地域コミュニティでまちづくり

問 地方分権の動きの中、行政と地域の役割・関与と市民協同のまちづくりを進める上